

日本産婦人科・新生児血液学会 会員各位

新生児・乳幼児ビタミン K 欠乏性出血症の診療体制に関わる国際調査へのご協力をお願い

拝啓

春暖の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、新生児・乳児ビタミン K 欠乏性出血症（VKDB）の予防と診療に関わっておられる会員の先生方に国際アンケート調査をご依頼させていただきます。

本調査はタイ国マヒドン大学 Nongnuch Sirachainan 博士が主宰し、国際血栓止血学会学術標準化委員会の支援を受けて実施されるものです。調査票は英文 WEB（SurveyMonkey[®]）へ記入し、10–15 分程度で回答できる分量です。

調査対象は VKDB 診療に関わる医師です。

調査内容は 2015—2020 年の過去 5 年間の VKDB の診療実績とその内容を問うものであり、患者個人が特定される情報は含まれておりません。

VKDB 診療の国際比較は初めての試みであり、会員の先生方におかれましても興味深い結果が得られると期待されます。調査へのご協力をお願い申し上げます。

敬具

調査票 URL <https://www.surveymonkey.com/r/VKDB-survey>

二次元バーコード



調査に関するお問い合わせ

九州大学病院 小児科・総合周産期母子医療センター

落合 正行 OCHIAI Masayuki

ochiai.masayuki.855@m.kyushu-u.ac.jp